



## 内科学第二講座 木村教授らが「Fukuchi Award」を受賞！

本学内科学第二講座 木村 弘教授、玉置伸二助教等の研究論文が、アジア太平洋呼吸器学会（APSR：Asia Pacific Society of Respirology）の第1回最優秀論文賞「Fukuchi Award」に選ばれ、平成22年11月24日にフィリピンのマニラで開催された第15回アジア太平洋呼吸器学会において授賞式が執り行われました。

「Fukuchi Award」は、APSRが今年創設した賞で、過去1年間にAPSR発行のジャーナル誌「Respirology」に掲載された研究論文の中から、最も優秀な研究論文に対して授与されるもので、これまでの研究成果をも加味して選出されたものです。

審査員は、元米国呼吸器学会会長 John Heffner オレゴン健康科学大学教授、元米国呼吸器学会会長 Peter Wagner カリフォルニア大学教授、元欧州呼吸器学会会長 Giovanni Viegi ピサ大学教授、Mike Niederman ウィンスロップ大学教授、Jay Ryu メイヨー医科大学教授、Michiaki Mishima 京都大学教授の面々です。

なお、同賞の名称である「Fukuchi Award」は、APSRの発展やRespirologyの発刊に貢献された順天堂大学客員教授で元日本呼吸器学会理事長の福地義之助氏にちなんで命名されました。

木村教授等の受賞論文の概要は、以下のとおりです。

**論文名** 「Nocturnal hypoxic stress activates invasive ability of monocytes in patients with obstructive sleep apnea syndrome（閉塞型睡眠時無呼吸症候群患者においては、夜間の低酸素ストレスにより単球の活動性は亢進する）」

**共著者** 「玉置伸二，山内基雄，福岡篤彦，牧之段潔，児山紀子，友田恒一，吉川雅則，木村 弘」

### 内 容

睡眠時無呼吸症候群患者において認められる、無呼吸に起因する間歇的低酸素ストレスは、血中の単球/マクロファージの活性化をもたらし、動脈硬化、循環器疾患の発症増悪因子になることを突き止めた。経鼻的持続陽圧呼吸（CPAP）は単球/マクロファージの活性化を阻止する作用があり、CPAPは単に無呼吸の治療に留まらず、心循環器疾患の発症を防止することを明らかにした。



表彰状を受ける木村教授（左）

## 受賞者コメント

本研究は、私ども第二内科が継続して行ってきた「睡眠時の低酸素ストレスの全身作用」に関するものです。低酸素ストレスが全身性炎症を引き起こす要因であり、その機序として、睡眠中の間歇的低酸素が単球およびマクロファージの遊走能と浸潤能を亢進させ、結果として、動脈硬化、心血管障害につながることを証明しました。また、この遊走能・浸潤能の亢進は CPAP という睡眠時無呼吸の患者さんに対する治療にて短時間にて改善することも明らかになりました。玉置助教をはじめとする、第二内科の多くの教室員が総力で積み上げてきた研究成果の一端であり、臨床の合間の限られた時間を割いて継続してきた研究が、思いがけなくも世界レベルで評価されたことにとっても嬉しく思います。素晴らしい教室員の仲間たち、またご協力いただいた患者さん、臨床研究の機会を与えて下さった奈良県立医科大学、そして多くの関係者の皆様に感謝いたします。

## 木村教授の略歴



平成22年11月現在

きむら ひろし
木村 弘 (59歳) 奈良県立医科大学 内科学第二講座 教授
昭和53年3月 金沢大学医学部 卒業 同年4月 千葉大学医学部附属病院研修医
昭和56年4月 千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科 医員
昭和59年4月 国立療養所千葉東病院 呼吸器科 医員
昭和61年4月 千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科 医員
昭和62年2月 千葉大学医学部肺癌研究施設 呼吸器内科 助手
昭和63年3月 米国ペンシルベニア大学医学部 内科呼吸器部門 博士研究員
平成2年4月 千葉大学医学部肺癌研究施設 呼吸器内科 助手
平成4年10月 千葉大学医学部附属病院 呼吸器内科 講師
平成9年2月 千葉大学医学部肺癌研究施設 呼吸器内科 助教授
平成13年4月 奈良県立医科大学 内科学第二講座 教授 (現在に至る)
昭和53年5月 医師免許
昭和60年11月 医学博士 (千葉大学)
平成5年 財団法人柏戸記念財団医学研究奨励賞
平成6年 フランスベッド・メディカルホームケア研究助成財団研究助成賞
平成6年 第3回 PneumoForum 賞
平成8年 平成8年度呼吸調節研究会研究奨励賞
平成20年 第40回日本臨床分子形態学会論文賞